

特集1

令和8年度 日事連建築賞

国土交通大臣賞 小規模建築部門

大阪避雷針工業神戸営業所
(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所 [大阪会]

日事連会長賞 一般建築部門

ヤマト本社ビル A棟・B棟
日建設計・鹿島建設設計共同体 [東京会]

優秀賞 一般建築部門

D-LIFEPLACE札幌
(株)竹中工務店北海道一級建築士事務所 [北海道会]

アグリカレッジ福島
ーアグリ探求棟・屋外作業準備棟・一般宿泊棟・学生寮ー
辺見設計・C+A共同企業体 [福島会]

YKK AP技術館
(株)アプルデザインワークショップ一級建築士事務所 [東京会]

伊方町健康交流施設 佐田岬亀ヶ池温泉
(株)矢野青山建築設計事務所 一級建築士事務所 [愛媛会]

優秀賞 小規模建築部門

奄美大島の家
Atelier NODE(株) [鹿児島会]

エバーフィールド木材加工場
(有)アトリエ・シムサー一級建築士事務所／(同)kittan studio／
3916 architecture [東京会]

美郷町カヌー艇庫 カヌーパークみさと カヌーレIMAI
(株)STUDIO YY [東京会]

奨励賞 一般建築部門

テクノ・ラボ大阪
(株)梓設計 [東京会]

犬山市立橋五子^{はしご}ども未来園
(株)安井建築設計事務所 名古屋事務所 [愛知会]

福島県大熊町大野駅西交流エリア
ーCREVA^{クレバ}おおくま・クマSUNテラスー
清水建設・関・空間設計 特定建設工事共同企業体 [宮城会]

ジズホールディングス東京本社
(株)高濱史子小松智彦建築設計 [東京会]

徳洲会ジムナスティクスアリーナ
(株)DESIGNSHIP／坪井工業(株)一級建築士事務所 [神奈川会]

奨励賞 小規模建築部門

竹中育英会学生寮
(株)竹中工務店東京一級建築士事務所 [東京会]

盆宿^{ぼんやど}U
(株)工藤浩平建築設計事務所一級建築士事務所 [東京会]

まちトープ
佐藤圭真建築設計事務所 [新潟会]

CYCL^{サイクル}
(株)百枝優建築設計事務所 [福岡会]

まちのゴミステーション
一級建築士事務所 岸本泰三建築設計室 [岡山会]



外観。1階に倉庫と荷さばき場を集約し、2階に事務室を配置

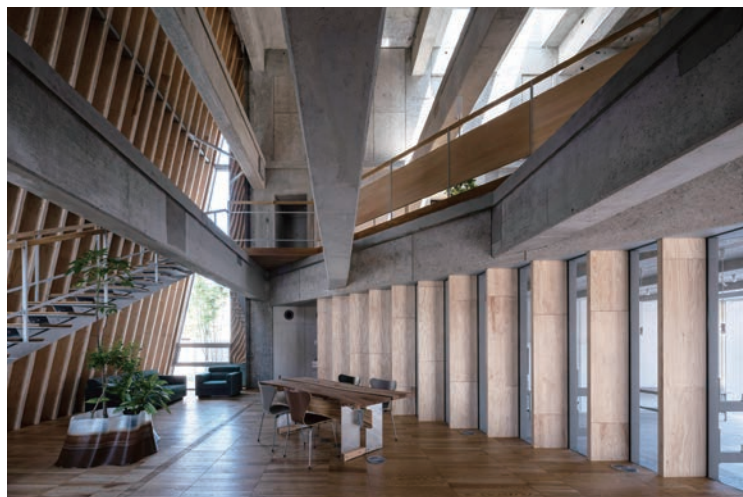
大阪避雷針工業 神戸営業所

(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所

大阪会

解体予定だった築35年RC造4階建ての既存建物を、減築と増築を組み合わせ再生した計画。“新しさの価値”から“時がつくる価値”への転換を図り、時とともに魅力が深まる建築を目指した。

当初の要望は営業所の建物全体の規模を縮小して建て替えることだったが、現地調査の結果、躯体や外装タイルは健全だったため、不要部分を減築して軽量化し、その分、既存躯体からの跳ね出しだけで基礎をつくらず1階を増築する提案をした。荒々しい既存RC躯体に鉄と木の大庇で空間を拡張させることで、新築ではなし得ない建築が実現した。



2階事務室。スラブを撤去してできた吹き抜けに階段を新設

建設地 兵庫県神戸市兵庫区
用途 事務所、倉庫
構造 RC造
階数 地上2階
敷地面積 660.87㎡
建築面積 297.14㎡
延面積 471.59㎡



外観。区道によって分かれた2つの土地に2棟一体の本社機能や宅急便センター、カフェなどを内包

ヤマト本社ビル A棟・B棟

日建設計・鹿島建設設計共同体

東京会

100周年を迎えた銀座の物流企業の新本社。都心の区道によって分かれた二つの土地に、2棟一体の本社機能に加え、宅急便センターやカフェなどの地域に根差した機能を内包。区道上空をアトリウムに見立て、ワークスペースをつなぐ要素として取り込み、大小の空間を互い違いに向き合わせることで一体感をもたらす空間構成とした。また、これからの働き方を見据え、木質の段床の構成により、多様な選択肢を持つワークスペースを創出した。木質オフィスをまちに開くことで、流通を担う企業としての社会との関わりや、環境への姿勢を体現した。



棟間は見合いの視線が斜めに抜けて互いを広く見せ、敷地を超えた一体感を醸成

建設地 東京都中央区

用途 A棟 事務所、飲食店、駐車場

B棟 事務所、駐車場、倉庫

構造 S造、一部CFT造、SRC造、RC造

階数 地上11階、地下1階、塔屋1階

(A棟)

(B棟)

敷地面積 998.73㎡

敷地面積 970.13㎡

建築面積 797.67㎡

建築面積 769.17㎡

延面積 9,670.18㎡

延面積 8,805.53㎡



D-LIFEPLACE札幌

(株)竹中工務店北海道一級建築士事務所

北海道会

札幌駅前通に面し、地下歩行空間に直結した低層部に商業テナントを配した賃貸オフィスビル。冬の厳しい環境下で、オフィスワーカーやまちを訪れる人のQOLを高める北国ならではの共生の場を目指した。テナント賃料の高い交差点側にあえて吹き抜けのオープンスペースを設け、外周を囲むように店舗を配置。地上と地下のレベル差6.5mを解消するため、階段とスキップフロアを連続させた吹き抜け空間とし、地上と地下の視線と動線をゆるやかにつないだ。外壁をセットバックさせ柱を束ねることで開放的なピロティとし、ガラススクリーンを介して地下まで自然光を取り込んでいる。

建設地 北海道札幌市中央区

用途 事務所、物販店舗、飲食店舗、自動車車庫

構造 S造、一部SRC造、RC造

階数 地上13階、地下1階、塔屋1階

敷地面積 1,265.64㎡

建築面積 1,167.24㎡

延面積 15,760.02㎡



アグリカレッジ福島

—アグリ探求棟・屋外作業準備棟・一般宿泊棟・学生寮—

辺見設計・C+A共同企業体

福島会

県内唯一の農業者育成の高等教育機関の新たな教育拠点。スマート農業に対応した学びと交流の場、遠方からの研修生を受け入れる宿泊機能、学生寮を一体的に整備した。

ニワ／ミチ／ツジによる空間構成を核とし、平屋を基本とした分棟配置により、キャンパス内に多様なスケールの庭（ニワ）を点在させ、それらを結ぶ渡り廊下（ミチ）が既存校舎へと連続する。さらに、その結節点（ツジ）に場を与えることで、学生、研修生、農業従事者、地域住民などさまざまな共同体の交流とアクティビティに溢れた環境を生み出した。

建設地 福島県矢吹町

用途 専修学校

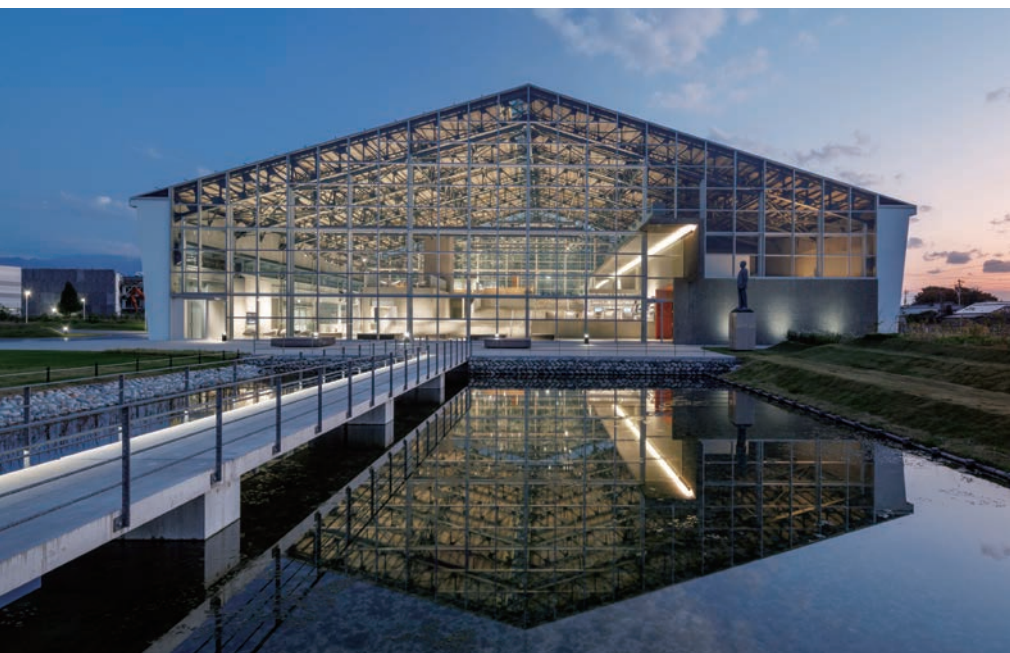
構造 木造

階数 地上2階（一部1階）

敷地面積 397,940.00㎡

建築面積 4,180.36㎡

延面積 4,449.98㎡



YKK AP技術館

(株)アプルデザインワークス ユーザー級建築士事務所

東京会

1959年竣工のアルミ溶解押出工場をリノベーションした資料館。無断熱の旧工場を全面断熱改修し、BELS評価★5の省エネ性能を確保した。

既存構造は現行基準に適合していなかったため耐震改修を行い、壁、屋根、床面全面に断熱を施し、開口部には複層ガラスを用いた。内部壁面に残る配管や電線管、標語など歴史が感じられる部分を極力残すために外断熱を選択。既存鉄骨造の切妻の建屋の内側に骨材洗い出し仕上げの防火区画（RC）を挿入。骨材の砂利は地域によって異なり、黒部川の砂利でしかできない色合いになっている。

建設地 富山県黒部市
用途 事務所(資料館)
構造 RC造、一部S造
階数 地上2階
敷地面積 483,188.23㎡
建築面積 3,609.23㎡
延面積 4,462.73㎡



伊方町健康交流施設 佐田岬亀ヶ池温泉

(株)矢野青山建築設計事務所 一級建築士事務所

愛媛会

落雷に見舞われ、温浴棟・簡易宿所棟・機械室棟などを除く本館を焼失した施設の再建計画。早急な再建が求められる中で、災害後の既存状況や経営課題の改善など複雑に絡み合う諸条件を整理しながら、町の重要な観光・交流拠点として次世代に引き継ぐための形を模索した。

仮営業の継続、温浴棟への配管が焼失建物の既存基礎ピットを経由している点を考慮し、既存基礎・杭を残置した上での再建を検討。内部空間を支える在来軸組のフレームなど、構造的な制約を丁寧に解きながら豊かな建築空間へと昇華させた。

建設地 愛媛県伊方町
用途 公衆浴場
構造 木造、一部S造、RC造(既存部)
階数 地上1階
敷地面積 10,134.30㎡
建築面積 1,558.42㎡
延面積 1,358.23㎡



奄美大島の家

Atelier NODE (株)

鹿児島会

南国特有の高温多湿と短い日照の過酷な環境下で、送電網や空調に頼らず家族4人が快適に暮らす自立循環型住宅。かつて一般的だった分棟形式を応用し、水廻り・寝室・倉庫など異なる機能を持つ5つのヴォリュームを幾何学的に配置。間に生まれる領域を家族の共有空間とし、縁側や庭へとゆるやかにつなげた。屋根は集落で見られる波板トタンや入母屋の意匠を継承しつつ、断熱・通気・採光を重ね、奄美の気候に適応する形式に再構築。高倉の架構を参照した構法で四方に風が抜け、深い軒が強烈な日射やスコールを和らげている。

建設地 鹿児島県奄美市
用途 一戸建ての住宅
構造 木造
階数 地上1階
敷地面積 358.20㎡
建築面積 142.08㎡
延面積 119.24㎡



エバーフィールド木材加工場

(有)アトリエ・シムサー級建築士事務所／(同) kittan studio／3916 architecture

東京会

地元産中小径材の使用、特殊な金物や工法を使わない在来軸組工法による建設、美しい木材架構デザインを設計条件に計画された木材加工場。主に120mm角およびその半割の製材からなる三角形ユニットを単位とし、これらが支える一支えられる関係を繰り返す木造レシプロカル構造により全体が構成されている。ドーム状の大屋根と壁をスムーズに併合しつつ、敷地境界を越えないように平面形状を雁行させるなど、意匠と構造が滑らかに連動するシステムにより、生物の細胞分裂を思わせる有機的秩序を帯びた全体像が実現した。

建設地 熊本県甲佐町
用途 工場(自動車修理工場を除く)
構造 木造
階数 地上1階
敷地面積 1,594.41㎡
建築面積 859.17㎡
延面積 638.98㎡



美郷町カヌー艇庫 カヌーパークみさと カヌーレIMAI

(株)STUDIO YY

東京会

古くからカヌーが盛んだった美郷町でのカヌー艇庫の計画。国体を見据え、中高生の部活でも活用できる艇庫とし、さらに友好協定を結ぶバリの建築様式を取り入れることが要件となっていた。バリの建築様式を直接的に引用するのではなく、現地の生活や信仰に根付く思想を読み取り、それを地域の自然と重ね合わせて建築化することを目指した。

木彫りのカヌー「ジュクン」は移動や漁業を支える存在で、神聖な器とも信じられており、伝統家屋の屋根に象徴的に船の形が用いられることから、この「ジュクン」を反転させたような屋根形状を採用している。

建設地 島根県美郷町
用途 スポーツの練習場
構造 木造(軸組)
階数 地上2階
敷地面積 5,515.42㎡
建築面積 1,035.66㎡
延面積 944.99㎡

令和8年度 日事連建築賞 審査報告



本連合会では、優れた建築作品を設計した建築士事務所を表彰することにより、建築士事務所の資質の向上に資することを目的に、毎年「日事連建築賞」を実施しています。

本年度は、一般建築部門74点、小規模建築部門88点の合計162点の応募があり、単位会での第1次審査を経て、29単位会から日事連に一般建築部門30点、小規模建築部門29点、合計59点の建築作品の応募がありました。

6月22日に日事連会議室において選考委員会を開催、第2次審査を行い、受賞候補作品を選定したのち、7月3日から8月3日にかけて、一般建築部門および小規模建築部門から合計9作品の現地審査を行いました。

すべての現地審査が終了した8月3日の最終選考委員会において、討議・検討の結果、国土交通大臣賞と日事連会長賞を選定いたしました。その後、さらなる討議・検討の結果、一般建築部門から4作品、小規模建築部門から3作品を優秀賞とし、優秀賞に準ずるものとして、一般建築部門から5作品、小規模建築部門から5作品を奨励賞に選定しました。

日事連建築賞 選考委員会

委員長	松村秀一	神戸芸術工科大学学長
委員	加茂紀和子	(株)みかんぐみ一級建築士事務所
	木下庸子	設計組織ADH、工学院大学名誉教授
	豊嶋太朗	国土交通省大臣官房審議官
	中谷正人	(有)中谷ネットワークス、建築ジャーナリスト
	原田真宏	(株)マウントフジアーキテックススタジオ一級建築士事務所、 芝浦工業大学建築学部教授
	樋上雅博	日事連副会長、(株)ブラッツ設計一級建築士事務所



テクノ・ラボ大阪

(株)梓設計

東京会

国内最大規模の生コンクリート協同組合の新拠点の計画。会議室や産学連携用セミナールーム、ホールを備えた事務所棟、プラントを内包し研究開発を行う研究棟の2棟を備える。生コンクリートに関わる企業や団体が集まる新拠点では、異なる背景の組合員が協働することで技術力を高め、交流が生まれる環境づくりを目指した。執務室をコンクリートのボリュームで構成し、その間に「すきま」を設けて重ねることで、共用部に中間領域となる交流スペースやバルコニーを配し、自然なコミュニケーションがとれるように配慮した。

建設地 大阪府大阪市住之江区

用途 事務所

構造 RC造

階数 地上4階、地下1階

敷地面積 13,580.83㎡

建築面積 3,371.88㎡

延面積 13,057.19㎡



犬山市立橋五子ども未来園

(株)安井建築設計事務所 名古屋事務所

愛知会

犬山市で約40年ぶりに新設された公立保育園。穏やかな山並みや田園地に囲まれた豊かな立地環境を生かし、大らかな大屋根の下で屋内外の多様な遊び・学びの場がとぎれることなくつながる平屋建て園舎の計画とした。田園風景と調和する水平基調の大屋根「フラットルーフ」からは建物内に光や風を導くゲート上の屋根「ゲートルーフ」が立ち上がり、シンプルながらも立体感のある外観によって、子どもたちがワクワクできる「ヒミツ基地」のような保育園を目指した。

建設地 愛知県犬山市

用途 保育所その他これに類するもの

構造 RC造

階数 地上1階、塔屋1階

敷地面積 5,948.28㎡

建築面積 2,795.17㎡

延面積 2,514.97㎡



原発事故で全町避難を余儀なくされた大熊町で、住民や地元企業の帰町と町の将来を担う新産業創出を促進するため、町全体を実証の場と捉えて整備した施設。計画地周辺で今後復興が進む状況を踏まえ、広場を中心に各施設が取り囲む構成とし、町の発展に合わせて整備する余地を残す計画とした。生活と交流の中心となるクマSUNテラスはヒューマンスケールの店舗群でかつて商店街があった町の原風景を継承。CREVA おおくまは面積の約半分を交流や共創のための場として開放し、ワークプレイスと交流の場を共存させた。

福島県大熊町大野駅西交流エリア —CREVA おおくま・クマSUNテラス—

清水建設・関・空間設計 特定建設工事共同企業体

宮城会

建設地	福島県大熊町	構造	S造
CREVA おおくま	クマSUNテラス		
用途	事務所、展示場、 自動車車庫	用途	事務所、飲食店、物品販 売を営む店舗、集会場
階数	地上3階	階数	地上1階
敷地面積	8,126.48㎡	敷地面積	15,689.90㎡
建築面積	4,320.83㎡	建築面積	1,818.50㎡
延面積	10,308.69㎡	延面積	1,648.71㎡



ジンズホールディングス東京本社

(株)高濱史子小松智彦建築設計

東京会

第二創業を掲げるアイウェアブランドの東京本社移転計画。将来的に取り壊しが予定されている地上9階建てのビルを新社屋として一棟借りし、「壊しながら、つくる」「美術館×オフィス」という2つのコンセプトのもと、フルリノベーションを行った。「壊しながら、つくる」は、引き算のデザインによって空間を成立させるものであり、「美術館×オフィス」は、床を抜き、仕上げを剥がすなど、文字通り壊すことで生まれた余白を、発想と創造を刺激する場へと再構成するものである。限られた時間の中で、クリエイティビティを高める働き方を実験できる新社屋を提案している。

建設地	東京都千代田区
用途	事務所
構造	SRC造
階数	地上9階、塔屋1階
敷地面積	704.36㎡
建築面積	596.21㎡
延面積	4,525.98㎡



徳洲会ジムナステクスアリーナ

(株) DESIGNSHIP / 坪井工業(株)一級建築士事務所

神奈川会

プロ体操クラブの本拠地となる体操場複合施設。競技普及や地元市民との接点も意識した、従来の体操場のイメージを一新させる明るく開放的な施設を目指した。併設の子ども体操教室やトレーニングジムからも選手の練習場を見渡せるよう大屋根のもと一体感のある構成となっている。十分な自然光が差し込む室内空間は日常の練習場に不可欠であり、練習は周囲にも公開されている。建築の内外でゆったりした自然光やランドスケープが展開され、心身共に充実した鍛錬を積める場を計画した。

建設地 神奈川県鎌倉市

用途 体育館

構造 RC造、一部S造

階数 地上3階

敷地面積 4,250.36㎡

建築面積 2,374.68㎡

延面積 5,222.39㎡

奨励賞 小規模建築部門



竹中育英会学生寮

(株)竹中工務店東京一級建築士事務所

東京会

竹中育英会の奨学金を受給する大学生・院生が入居する学生寮の建て替え計画。開寮以来、多様な学生が住まい、学校とは異なるコミュニティと世代を超えた交流の場となってきた。現在、計画地は閑静な住宅街であるが、戦前の農地・水路を中心とした自然共生の生活から学び、環境意識を育み地域環境の改善に寄与する「リジェネラティブな学生寮」を目指した。Well-beingが向上する「木がつなぐ屋内外の多様な住空間」、脱炭素社会に貢献する「木+RCの混構造」、環境意識と生物多様性を育む「学びの場」のコンセプトを軸として計画している。

建設地 東京都練馬区

用途 寄宿舎

構造 RC造、一部木造

階数 地上2階

敷地面積 1,631.37㎡

建築面積 594.30㎡

延面積 746.01㎡



ぼんやど 盆宿U

(株)工藤浩平建築設計事務所一級建築士事務所

東京会

築180年の歴史ある商家「旧柴与家」の改修計画。まちの人が訪れ、誇りとなり、まちがつながる施設を目指し「泊まれる文化交流施設」として計画した。4棟の蔵のうち2棟を宿泊機能とし、損傷の激しかった鞘堂部分の外壁を撤去し、豪雪地帯に見られる仮設の雪囲いを参照した独立塀を設けた。RC造の基礎の上に木製横ルーバーによる塀を構成し、ルーバー越しに内蔵がほのかにうかがえる構えとすることで、ホテルの要素を内包しながら、内と外、現代と過去が交錯する時間の連続性を表現した。

建設地 秋田県羽後町

用途 宿泊施設

構造 木造

階数 地上2階

敷地面積 4,349.14㎡

建築面積 663.35㎡

延面積 642.18㎡



まちトープ

佐藤圭真建築設計事務所

新潟会

燕市宮町商店街に計画された、図書館、シェアラウンジ、カフェ、キッチンからなる民設民営の複合施設。アーケード撤去や空き店舗の増加等で通りの連続性や人の滞在が失われていた商店街で、施主の「ビオトープのような場所をつくりたい」という言葉を起点に多様な活動が混ざり合う地域拠点を目指した。4つの用途の境界が曖昧に重なり合う構成とし、商店街通りに面する図書館が最も公共性が高く、奥に進むにつれ商業性や私性が高まる。西面道路側は奥へ進むほど開口を絞り、音や光の漏れを抑えつつ光窓から自然光を導いた。

建設地 新潟県燕市

用途 飲食店

構造 木造

階数 地上1階

敷地面積 291.30㎡

建築面積 159.09㎡

延面積 153.09㎡



サイクル
CYCL

(株)百枝優建築設計事務所

福岡会

富士山と山中湖を望む絶景地にあるサウナ施設。施主が国立公園の事業者として運営する上で環境省からの認可が必要となり、自然公園法に基づく認可基準として、矩形の平面、伝統的な屋根形状、ガラス面積は壁全体の半分以下という制約が主に挙げられた。建築を地域固有の歴史につながる風景の一部にしたいと考え、富士山にかかる笠雲に注目し、その関係を建築に置き換え、山のような構造体で屋根を浮遊させた。「山」の中と外で自然の感じ方を変えることで集中から解放へと人の精神状態を切り替える2層の空間を提案した。

建設地 山梨県山中湖村

用途 公衆浴場、飲食店

構造 木造

階数 地上2階

敷地面積 1,970.77㎡

建築面積 120.87㎡

延面積 163.24㎡



まちのゴミステーション

一級建築士事務所 岸本泰三建築設計室

岡山会

利用者が当番制で集積されたゴミの整理、施設の管理を行う集積場の計画。地域ごとの戸数に合わせてA～E型の5タイプを計画した。平面の奥行きは一定で、1枚のコンクリート壁と、木部の水平力をこの壁に伝える「斜め梁」で木造の架構を構成し、間口の幅を5種類に設定している。コンクリート壁は、建築基準法上の延焼ラインへの対処でもあり、木部は柱・梁と開口部で構成し、木造の壁はない。柱のピッチは約500とし、規格品のエキスパンドメタルを縦に2分割して柱に固定し、端材はゼロとした。

建設地 岡山県勝央町

用途 町内ごみ集積場

構造 木造

階数 地上1階

敷地面積 225.79㎡

建築面積 36.10㎡

延面積 29.10㎡

〔 第1次審査通過作品 〕

※掲載許可のあった作品のみ

一般建築部門



桜川消防署庁舎

(株)andHAND建築設計事務所

茨城会



筑西市認定こども園 せきじょう

(株)若柳建築事務所

茨城会



栃木県立 足利高等学校

AIS総合設計(株)

栃木会



前橋市議会庁舎

(株)福島建築設計事務所

群馬会



北関東曲加工センター 本社

(株)アライ設計

埼玉会



伊勢崎市保健センター くわまるプラザ

(株)宮本忠長建築設計事務所

長野会



Takano SCRUM SQUARE

(株)三四五建築研究所

富山会



島田市役所新庁舎

一級建築士事務所
(株)石本建築事務所
名古屋オフィス

愛知会



山都町総合体育館 パスレル

(株)安井建築設計事務所

大阪会



四万十市 総合文化センター しまんとびあ

東畑建築事務所・
鳥設計共同企業体

大阪会



共英製鋼山口事業所 新事務所棟

(株)奥村組西日本支社一級
建築士事務所／エムアール
スタジオ(株)一級建築士事
務所

大阪会



道の駅 クロスウェイなかまち

(株)樹谷設計

奈良会



日東電工尾道事業所 サウステラス

清水建設(株)広島支店一級
建築士事務所

広島会



もくろすみよし 広島銀行十日市支店

(株)竹中工務店広島一級建
築士事務所

広島会



三野認定こども園

(株)スバル設計／
(株)y+M design office

徳島会



Seed1931

清水建設(株)九州支店一級
建築士事務所

福岡会



にしざきこども園

(株)ニシヤマ設計事務所

長崎会

小規模建築部門



KUSANO Village

(株) Atelier Malm 一級建築
士事務所

福島会



ちらんつくば園

(株)ヤマト建築設計事務所

茨城会



つくばの平屋

(株)サンハウス一級建築士
事務所

茨城会



社会福祉法人 青葉学園福祉会 松原保育園

(株)渡辺有規建築企画
事務所

栃木会



ユズシタノイエ

ほしかわ工務店設計室

群馬会



庭園緑地の邸宅

(株)邸宅巣箱／
五十嵐悠介建築事務所

神奈川会



妙善寺本堂

PERSIMMON HILLS
architects

神奈川会



鐘の鳴る丘集会所

(株)フジ設計

長野会



しずおか焼津信用金庫 羽鳥支店 美和出張所

企業組合針谷建築事務所
一級建築士事務所

静岡会



とくなが荘 OKUZASHIKI

(株)北條建築事務所

大阪会



向島の家 -方形屋根の下の暮らし-

(株)オノミチエ設計室

山口会



もとお保育園

(株)INTERMEDIA

長崎会



空間領域の家

プラウム建築設計事務所

新潟会



児童養護施設 風越寮

一級建築士事務所
白子建築設計事務所

長野会



名張きぼうのこども園

(株)森本建築事務所

三重会



滑床ビジターセンター 万年荘

(株)ようび建築設計室

岡山会



星の原分譲団地 集会所

鴛海達矢建築設計事務所
一級建築士事務所

福岡会



熊本第一信用金庫 山鹿来民支店

(株)セルアーキテクト

熊本会



松村秀一

日事連建築賞選考委員会委員長
神戸芸術工科大学学長

本年度も全国の単位会から数多くの優れた建築が選ばれ、連合会本部にプレゼンテーション図面等資料一式が送られてきた。今、日本の各地にどういった新しい建築が立ち現れてきているのか、興味津々である。地域それぞれの事情を反映したものを見るのも楽しいし、全体に共通する時代性がぼんやりとであれ感じ取れるのも刺激的である。47都道府県の建築士事務所が集まったこの連合会ならではの楽しみであり、刺激である。

もう一つ、この賞の特徴として応募者の多様性がある。各地の建築士事務所の場合もあれば、設計施工の建設会社の場合もあり、小規模な事務所もあれば、千人以上の建築士が働く大企業の場合もある。私たち選考委員は、事前に応募者の名前は知らされていないから、現地審査も行い、合議で授賞対象を決めた後に初めてその設計者を知るわけだが、てっきり地元の小規模な事務所の設計によるものだと思っていたものが、大手建設会社の設計施工によるものだったり、あるいはその逆のケースだったりということで、驚かされることも決して少なくない。

国土交通大臣賞 小規模建築部門

大阪避雷針工業神戸営業所

(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所 大阪会

JRの駅から向かうと、四隅にコアを持つ築30年

程度の建物に見えるので、遠目に見てこれが国土交通大臣賞になることは想像しにくかったが、それはこの建物が1989年築の建物のリノベーションであるからであり、一步敷地内に足を踏み入れた途端驚く結果となった。4階にあった住居部分をバツサリと撤去し、従業員数に合わせて思い切って各階の床を抜き、外部の製品搬出入動線や作業場も含めて、建物全体が視覚的につながる、全く新たな空間の質を獲得したことを知り、まずは大いに魅了される。さらに詳細な説明を聞くと、減築による耐震補強効果、伐採せざるを得なかった木を活かすべくそこから挽いた大板で制作した象徴的なテーブル、近隣の住宅からの視線を遮り屋外の搬出入スペースを中間領域的に位置付けた屋根の増築、地域の人も水やりに参加できる建物周辺のちょっとしたグリーンスペース等、細かなところにも配慮が行き届いていて、全体の心地良さ、働きやすさにつながっている。これからさらに100年は持たせるという明確な目標を立て、将来の設備の更新しやすさまで考慮した点も高く評価できる。

日事連会長賞 一般建築部門

ヤマト本社ビル A棟・B棟

日建設計・鹿島建設設計共同体 東京会

銀座の昭和通り沿いに新築された大企業の本社ビルである。人も車も多く通る昭和通りに面して、木製の庇と木製の天井、そして木製の家具が、適宜植栽を伴って、水平、垂直に連続するそのファサードは斬新である。区道を挟む二つの敷地に分かれて建つという特殊条件だったが、これが一敷地の場合よりも街並みを形成する二棟の建物という見え方につながり、結果としてプラスに働いている。この連続する二敷地の新たな景観が、この通り沿いに影響を及ぼしていく未来も想像してみたくなる。このファサードに現れた木に囲まれたワークプレイスは、階高の中で床、天井のレベルが段階的に変化しており、道路側から見れば奥に位置する比較的広いワークプレイスをも含んで、変化に富みそれぞれに適切なスケールと仕切り方で分節されたオフィス空間を実現している。新鮮なチャレンジである。

優秀賞 一般建築部門

D-LIFEPLACE札幌

(株)竹中工務店北海道一級建築士事務所 北海道会

札幌駅に通ずる地下道からアクセスできるオフィスビルである。下層階は地下からも地上の通りからもアクセスできるパブリックな場所としており、地下2階まで通じる大きな吹き抜けのデザインが巧みで、外光が壁に反射して全体に回るよう設計されており、北東向きのビルながら暗さを感じさせないものになっている。上層のオフィス階も3種類の幅の縦長の窓を使い分け、外の眺めや採光をコントロールする等、きめ細かな配慮が随所に見られた。

アグリカレッジ福島

ーアグリ探求棟・屋外作業準備棟・一般宿泊棟・学生寮ー
辺見設計・C+A共同企業体 福島会

建物を分棟型で配置し、各棟の面積を抑えることで、すべて地域生産による木造建物にできたことは、この施設にとって大事な成果であったろう。変形六角形の教室棟等、程良いスケール感の建物群が屋根のかかった通路で結ばれている様は、「懐かしい未来」とでも表現したくなる豊かな質感を有している。

YKK AP技術館

(株)アプルデザインワークショップ一級建築士事務所
東京会

アルミ溶解押出工場を展示ホールや研究棟として再生させた建物だが、新旧のコンクリートが違和感なく馴染むよう洗い出し風の仕上げを採用したり、古い型枠の再利用を試みたり、リノベーション・デザインのいわば品格を高めるテクスチャーの選択や、既存躯体の見せ方等、学ぶべき点が多い。

伊方町健康交流施設 佐田岬亀ヶ池温泉

(株)矢野青山建築設計事務所 一級建築士事務所
愛媛会

落雷による火災からの復興建築であり、既存の機械室や宿泊棟の一部を活用しながら新築・改修を

行った建物で、種々制約が大きい中で、地元に愛される施設を実現している。とりわけ軟弱地盤に対応し、既存基礎等をうまく活用しながら実現した点は評価できる。

優秀賞 小規模建築部門

奄美大島の家

Atelier NODE (株) 鹿児島会

送電網に頼らない暮らしを実現することを目指した実験住宅である。日照の少ない地域で太陽光発電だけを電力源にして4人家族が暮らすために、開放的な空間構造の中で、屋根裏の空気層を循環させて温度調節を行う方式を採用している。地域の人々に対する開放性ととともに、新たな暮らしの提案として魅力的である。

エバーフィールド木材加工場

(有)アトリエ・シムサー級建築士事務所／
(同)kittan studio／3916 architecture 東京会

熊本の地域工務店の木材加工場である。中小径の一般流通材が互いにもたれかかるように支え合う構造によって、地場産材で囲まれた魅力的な木造空間を実現している。大工の高い技術力も見逃せない。工場でありながらコミュニティの拠点となっている点も評価できる。

美郷町カヌー艇庫 カヌーパークみさと カヌーレIMAI

(株)STUDIO YY 東京会

江の川沿いにあるカヌー艇庫である。船のようなイメージの細長い大屋根が印象的で、この地の風景の中に美しく収まっている。美郷町とバリ島マス村との友好協定から、建物の内部の所々にバリ島の意匠が取り入れられていて、独特の雰囲気を出している。



加茂紀和子

(株)みかんぐみ一級建築士事務所

今年度の優れた作品の中で特に印象深かったのは、いずれも改修の作品である。

一つ目の国土交通大臣賞受賞作「大阪避雷針工業神戸営業所」は、1989年築の躯体を減築により軽量化し、既存躯体から大庇を吊り下げる独自の形態操作を展開。社内の見通しの良い関係と、地域へのオープンな関係（つなぐ・ひらく）を実現している。

二つ目の「YKK AP技術館」は、1959年築の工場を展示場へコンバージョンした作品。地域に開かれた公園のランドスケープ内に位置付けられている。半世紀以上を経た既存躯体の表情を丁寧に読み取り、新設RC表面にかつての型枠や遅延シートの洗い出しを用いて絶妙に馴染ませる工法が光る。また、サッシメーカーならではの大きなガラス窓を持ち、大空間ながら優れた省エネ性能を誇る。酷暑日の現地審査でも緩やかで心地よい空気が流れる空間を実感できた。

これらは建築家の想像力が新たな見立てや居心地の良さを生み出した成果であり、従来の建築の寿命観を覆す驚きと感動がある。姿を少しずつ変えながらも、100年、あるいはそれ以上の未来を生き続けることを確信させる。



木下庸子

設計組織ADH
工学院大学名誉教授

「ストック活用」は長らく目標として掲げられてきたが、リノベーションに対する社会の意識はようやく定着しつつある。今年の国土交通大臣賞（小規模建築部門最優秀）「大阪避雷針工業神戸営業所」は、築35年の既存ストックの価値を最大限に引き出した再生建築である。約850㎡の建物を500㎡未満まで減築し、木を現しとした増築や吹き抜けの設置、階段の集約など、法規上の制約を巧みにクリアしながら、開放的でゆとりある空間を実現した。南北の大庇を上部でつなぎ、既存躯体から跳ね出す構造とすることで新たな基礎を設けず成立させるなど、建築家の知恵と工夫が随所に見られる。

一方、日事連会長賞（一般建築部門最優秀）「ヤマト本社ビル A棟・B棟」は、多様な働き方に対応する新たなオフィス空間のタイポロジーを示した建築である。幹線道路に面して建つ二棟の建物のファサードが互いに呼応する印象的な外観を持つ。区道側は二棟に二層おきに設けられた互い違いのテラスがかみ合うような構成である。道路に面する内部は、床と天井のレベルの変化や家具によってワークプレイスの多様な選択肢を生み出している。道路側には木質仕上げの「縁側空間」が設けられ、内部の床・天井の変化を外部の庇へ連続させることで内外が一体となった、この建築を特徴づけるファサードを形成している。

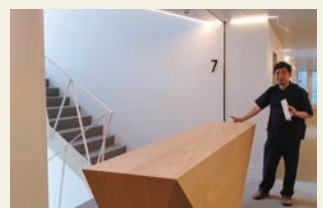
現地審査



大阪避雷針工業神戸営業所



ヤマト本社ビル A棟・B棟



D-LIFEPLACE札幌



豊嶋太郎

国土交通省大臣官房審議官



中谷正人

(有)中谷ネットワークス
建築ジャーナリスト

まず初めに、本年度の応募作品すべてに敬意を表したい。いずれの作品も、建築士事務所が地域や社会の課題と向き合い、それぞれの創意工夫を凝らした優れた提案であった。

中でも国土交通大臣賞に選ばれた「大阪避雷針工業神戸営業所」は、解体・建替えが予定されていた築35年の建築を、減築と増築を組み合わせた大胆な改修によって再生し、既存ストック活用の新たな可能性を示した先導的な作品である。

本作品は、不要な部分を戦略的に減築することで建物の軽量化と耐震性能の向上を図るとともに、既存躯体や外装を活かしながら、働き方や利用実態に即した空間へ再構成している。さらに、新築時と比較して大幅なCO₂排出量削減を実現し、高い環境性能と快適な執務空間を両立している点も高く評価された。

人口減少やカーボンニュートラルへの対応が求められる今日、本作品は「新しいものを造る」だけでなく、「今あるものを活かしながら価値を高める」建築のあり方を示している。既存建築の再生を通じて、新築を超える魅力と持続可能性を実現した優れた事例として、今後の建築ストック活用のモデルとなることを期待している。

今回の審査から強く感じたのは、全般的に周辺環境への配慮が進んでいるという点であった。周辺が都会であれ、自然豊かな地方であれ、その建物が建つ環境への配慮が計画的にも外観にも表れていた。時には軒高を低く抑えたり、機能を分散化させて小さめの建築群としたりするなどはその表れだろう。また、地域材の活用なども多くの事例で見られた。

また、建物の施主や使用する人たちだけではなく、企業の施設でありながら、地域住民に開放して公共建築的な役割を担うものも多く、いずれも歓迎すべき現象だと思われる。

さらには地方固有の冠婚葬祭やコミュニティにおける人間関係などの生活文化に至るまでを、平面計画などに取り込むような試みも見ることができた。

技術的な面においては、大規模な一般建築部門であっても、使用する素材やディテール、自然光の入り方などにまで細かく配慮されているもの、都市における景観の一要素として新しいあり方を提案しているものまであり、ともかく完成度の高い応募作品が多かった点は評価に値すると思われる。

僭越ながら、全体的に評価すべき作品が増えてきたと思うのだが、今後の建築界は地域の固有性をいかに建築に反映させるかが課題ではないかと考えている。

その意味でも、すべての単位会から推薦された、地域固有の文化を反映している応募案と出会えることを願っている。



アグリカレッジ福島



YKK AP技術館



伊方町健康交流施設 佐田岬亀ヶ池温泉



原田真宏

(株)マウントフジアーキテツスタジオ
一級建築士事務所
芝浦工業大学建築学部教授



樋上雅博

日事連副会長
(株)ブラッツ設計一級建築士事務所

今回も審査が難しいほどに、優れた作品が集まった回だったように感じている。中でも、一般建築部門、小規模建築部門の最優秀となった作品が、いずれも組織設計事務所とゼネコン設計部によるデザインであったことに象徴されるように、非アトリエ系事務所の活躍が目立ったような印象を持った。

従来であればそういった非アトリエ系の作品は、巨大だったり高度に複雑だったりするプログラムを、組織力を活かして高いクオリティで仕上げたような、いわゆる「堅実さ」を売りとした作品が多かった。それに対して今回は、建て直し新築の設計依頼を自らひっくり返して、なんの変哲もない既存ビルを減築と増築による見事なストック活用型プロジェクトへと転じた「大阪避雷針工業神戸営業所」、木材を雨掛かり部も含めて外部あらわしとすることで銀座界隈に木質の都市景観を実装した「ヤマト本社ビル A棟・B棟」がそれぞれの部門での最優秀に選定された。これらは新しい可能性を拓くチャレンジングなプロジェクトであり、業界の変化を感じさせるものだ。

一方で、デザインクオリティが高く、大規模かつ高い環境性能を持ったプロジェクトをしっかりと収めた「YKK AP技術館」や、これまでデザインの光が当たっていなかった、しかし街の景観上の重要要素である「ゴミ捨て場」をきっちりとデザインした仕事「まちのゴミステーション」など、いわゆるアトリエ系らしい感度の高いデザインや新しい「視点」を提示する作品も共存しているなど、良い意味で設計業界全域での多様化が進んでいることを実感できたことは収穫だったように思う。

来年はどう変化するのか。大変楽しみである。

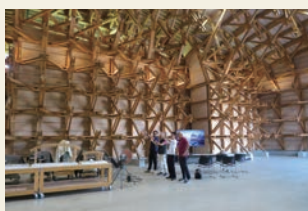
はじめに、今年も日事連建築賞に多数応募いただいたことに感謝申し上げたい。昨年に引き続き、私も現地審査を含む選考に参加させていただいた。私の評価としては昨年と同様、建設地の歴史や文化、まちなみといった空間構成とデザイン性という文脈を継承し未来に発展的に寄与しているかという点と、施工性を含めた総合技術力を展開しているかという点、さらに改修や増改築の場合は、既存建築の社会資本としての価値向上に果たしている役割や、そこに向けた技術力を審査評価の軸とした。

国土交通大臣賞に選定された「大阪避雷針工業神戸営業所」は改築に掛ける情熱を感じた。また、日事連会長賞に選定された「ヤマト本社ビル A棟・B棟」は、無機質な都市空間にあって木質の表現とレベル差を利用したダイナミックな表現で、新しい街のあり方を提言するような素晴らしく意欲的な作品であった。そのほかの受賞作品も甲乙つけ難い素晴らしい作品ばかりで、審査する私もワクワクしながら審査させていただいた。応募されたすべての会員の皆さま方に敬意を表したい。

今後さらに多くの会員からの応募作品が集まり、建築への意識向上や会員増強につながるように、周知方法や審査方法も改善すべく委員会での議論を進めていきたいと思う。



奄美大島の家



エバーフィールド木材加工場



美郷町カヌー艇庫 カヌーパークみさと カヌーレIMAI